

意見表明

10月3日の決算審査特別委員会では、5分科会の審査概要について報告が行われた後、5人の委員が会派を代表して意見表明を行い、採決の結果、各会計決算を原案どおり可決・認定しました。各会派の意見表明の概要は次のとおりです(通告順に掲載)。

1 公明党千葉市議会議員団

持続可能な都市形成に向けさらなる努力を

一般会計や国民健康保険事業の実質収支は黒字となり、また、建設事業分の債務負担行為の抑制など、主要債務総額についても目標年次を上回る削減に努めるなど財政健全化に向け一定の進展がみられることは評価します。今後もさらなる財政健全化に努め、市民福祉の向上や将来にわたり持続可能な活力ある千葉市を築くため、一層の努力を求めます。

2 市民ネットワーク

市民生活の向上に資する事業の着実な推進を

財政健全化プランの取り組みについては、市民の理解を得ながら、収支改善を進めてきたことを評価します。また、各事業の内容と効果については、まちづくりや子育てなど将来に向けての施策に取り組んで来た様子がうかがえたことから、概ね均衡のとれた財政運営が行われたと判断します。さらなる、情報公開や市民への理解を進め、市民生活の向上に資する事業を着実に推進することを求めます。

3 日本共産党千葉市議会議員団

市民生活向上を果たさない決算は不認定

必要性が問われる大型開発事業は推進する一方で、心身障害者福祉手当カットや、家庭ごみ有料化など負担は増え、また、道路、公園トイレ、文化ホール整備など市民生活に直結した事業は不十分で、市民生活向上を十分に果たしたとは言い難い決算です。「誰も置き去りにしない」千葉市を目指すなら、真に必要な福祉カットは中止し、市民の暮らしや生活に密着した事業への財政転換を強く求めます。

4 自由民主党千葉市議会議員団

財政健全化に向け確実な取り組みを

徴収対策推進により市税徴収率が前年度を上回るなど、財政健全化に向けた取組成果は評価しますが、病院事業において多額の赤字を抱え、基金からの借入残高が多額であるなど財政状況はいまだ厳しく、今後も財政健全化に向けた取り組みを確実に進める必要があります。新年度の予算編成では、市民の切実な要望や我が会派の指摘をしっかり受け止め、的確な対応を求めます。

5 未来民主ちば

将来世代に魅力ある街づくりを

市債残高を8年連続で100億円以上削減し、財政健全化への歩みを進め、また、施策では、避難所運営委員会や自主防災組織の助成拡充、在宅医療・介護連携支援センター設置、病児・病後児保育や認定こども園の拡充など評価します。今後も将来負担とのバランスに配慮し、投資を的確に行い、将来世代に引き継ぐための魅力ある街づくりに向け、最大の努力をお願いします。

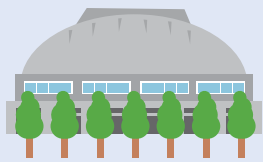
市長に提出した指摘要望事項

5つの分科会審査の結果、まとめられた10項目の指摘要望事項を市長に提出し、市政運営に反映させるとともに、反映状況の報告を求めました。

1 防災・減災対策 については、近年の災害発生状況を踏まえ、強風や豪雨、停電等の状況下においても市民に情報が伝わるよう、防災行政無線の充実に加え、多様な情報伝達手段の導入を検討されたい。

また、自主防災組織については、災害時にその力を十分発揮できるよう、育成強化に引き続き努めるとともに、避難所運営委員会や消防団との適切な役割分担のもと、地域防災力のさらなる強化を図られたい。

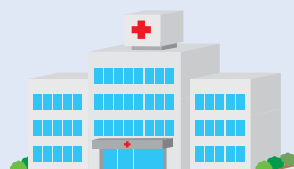
2 オリンピック・パラリンピック については、競技会場都市として大会を成功に導くことはもちろんのこと、四つの地域資源を初めとした本市の魅力を国内外にアピールする絶好のチャンスであることから、庁内で連携をとりながら、機会を逃さず効果的なPRに努められたい。



3 ひきこもり地域支援センター については、年々相談件数が増加し深刻化していることから、支援相談員やひきこもりサポーターの一層の増員を図るとともに、アウトリーチ型支援を推進し、子ども若者総合相談センター(Link)など関係機関とのさらなる支援体制の充実強化に取り組まれるほか、本市ひきこもり支援施策の積極的な周知啓発に努められたい。

4 病院事業 については、第4期病院改革プランの取り組み初年度として、一定の成果が見られるものの、引き続き経営改善が必要なことから、さらなる費用削減に努められたい。

また、市立病院の使命として、市民が必要とする医療を提供するため、必要な診療科の検討を行うとともに、医師や看護職員については、病床の稼働状況や労働環境も考慮しながら、適正な配置に努めるなど、持続可能な病院経営につながるよう取り組まれたい。



5 パラスポーツの推進 については、本市がパラリンピック競技大会の競技会場都市であることを踏まえ、大会成功に向けたさらなる機運の醸成に努めるとともに、大会開催後もパラスポーツが広く市民に親しまれるスポーツとして定着することが肝要であることから、引き続き競技用具の整備等によりパラスポーツの普及促進を図るなど、大会閉会後を見据えた施策展開にも意を用いられたい。

6 MICEの推進 については、国際会議等の誘致による経済波及効果が大きいことに加え、市内産業振興にも大いに寄与することから、主催者となりうる市内の学術・研究機関等と連携を図りながら、引き続き誘致の増加に向けた取り組みに努められたい。また、国内外から訪れる多くの方々を市内に長く滞在させることも肝要であることから、インバウンドに係る調査により得られたデータを活用し、多角的な視点を取り入れた施策展開を図られたい。

7 子どもルームの待機児童対策 については、子どもルーム指導員の確保が喫緊の課題であることから、指導員の勤務環境の改善を図り、指導員不足の解消に取り組まれたい。また、保育環境のさらなる充実を図るとともに、運営事業者に対して適切に指導、助言を行うなど、子どもの成長発達にかなった保育が行われるよう、保育の質の確保に十分留意されたい。



8 公民館 については、利用しやすい施設となるよう計画的な修繕等を実施することはもとより、主催事業の実施に当たっては、職員の企画能力の向上に資する研修の充実を図るとともに、施設管理者や地域の方々と連携するなど、各地域の課題や特性に即した講座の企画や実施に努められたい。



9 立地適正化計画に基づく地域公共交通網形成計画の策定 に当たっては、市内の団地再生との連動性を高め、都市のスポンジ化対策に取り組むとともに、人口の流入促進の観点から、結婚新生活支援事業等の効果を再検証するなど、ニーズを的確に捉えながら施策展開し、快適な居住環境の構築に意を用いられたい。

10 道路環境の整備 については、災害に強いまちづくりの観点から、路面下の空洞調査や舗装修繕、樹木管理を引き続き適切に行うなど、関係部局と連携した施策展開を図られるとともに、電線共同溝整備の計画的な推進に当たっては、最適な手法を検討し、コスト削減等の効率的な整備に取り組まれたい。

